

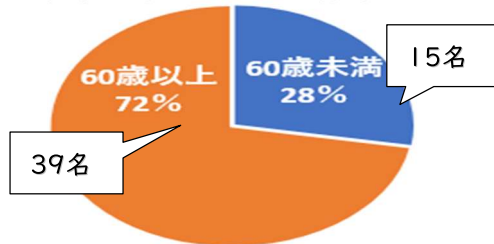


今でも日本に結核はあります

9月24日～9月30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です。結核は過去の病気と思われがちですが、現在でも国内で1万人以上の感染者が発生する主要な感染症の一つです。咳、微熱、だるさなどの症状が2週間以上続く場合は、早めの医療機関受診が必要です。

また、呼吸器感染症には、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症、細菌性肺炎などがあり、マスク着用を含む咳エチケット、手洗い、換気などの基本的な感染対策や予防接種が重要です。

福井県 新規結核患者 (2024 年)



福井県では、新規結核患者の72%が60歳以上の方で、高齢者の新規結核患者が多い状況です。

次いで、外国生まれの結核患者が2024年では全体の24%を占めており、全国と比較しても高い傾向です。

早期発見のために、年に1回は胸部エックス線検査を受けることが大切です。

Topics インフルエンザ例年より早い流行

インフルエンザは例年、冬に流行のピークを迎える感染症ですが、県外では各地でインフルエンザの報告が増加しています。夏休みが明け、学校が始まりましたので、集団感染にも注意が必要です。

インフルエンザワクチンは、例年、秋以降に接種が始まります。秋以降の本格的なシーズンに向けて、特に、重症化リスクがある方は、ワクチン接種を検討しましょう。

インフルエンザワクチンについて
(厚生労働省HP)



災害に備えましょう ◆9月は防災月間です◆

8月29日から嶺北地方が記録的な大雨に見舞われました。家屋が浸水した場合は、細菌等が繁殖しやすくなり、感染症にかかるおそれがあります。感染症の発生を予防するためには、適切な消毒等を実施することが必要です。

〈浸水した家屋の感染症対策について〉

感染症予防のためには、**清掃**と**乾燥**が重要です。清掃が不十分だと消毒の効果を発揮できません。消毒の前に十分清掃しましょう。

1. ほこりから目や口を保護するため、ゴーグル・マスクを着用
2. 清掃中のケガ予防に、手袋・底の厚い靴などを着用
3. ドアと窓をあけて、しっかり換気
4. 汚泥は十分に取り除き、しっかり乾燥



詳細はこちら
被災した家屋での感染症対策について
(厚生労働省HP)



悩みごと総合相談会を開催します

9月10日～16日は自殺予防週間です。この週間に合わせて悩みごと総合相談会を開催します。

日時 令和8年9月12日(土)9:00～12:00

場所 若狭健康福祉センター(小浜市四谷町3-10)

相談内容 弁護士、精神科医師、臨床心理士、保健師等が個別相談に応じます。

問合せ先 ☎0770-52-1301

※事前予約制 9月9日(水)〆切

他の相談窓口はこちら
(福井県HP)



[発信者] 若狭健康福祉センター 地域保健課

TEL:0770-52-1301 FAX:0770-52-1058 メール:w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp

※ご不明な点やご意見は上記へご連絡下さい。